



海蔵地区青少年育成協議会
会長 山崎茂雄さん

海蔵川の水難事故防止ブイ設置活動を行っている、海蔵地区青少年育成協議会の山崎さんにお話を伺いました。

老若男女、各分野で活躍するさまざまな「四日市人」取材して、その人の言葉で四日市の魅力などをお伝えするコーナーです。

■CTY「ちゃんねるよっかいち」でも紹介します。

日時：9月1日～30日

月水金日 9：30、20：30

火木土 12：30、20：30

■CTY-FMで毎月第2・第4日曜日放送の「よっかいちわいわい人探訪！」でも紹介します。

日時：9月9日・23日

8：54、14：54

■海蔵川の水難事故防止ブイ設置活動

海蔵地区では、過去に起こった水難事故をきっかけとして、区内を流れる海蔵川岸壁に、約100個のブイを設置しています。海蔵地区青少年育成協議会では、代々このブイの設置や管理を行っていて、私が会長になった後も活動を続けています。

川べりには藻などが付いているため、川の中から岸に登るのは大人でも難しく、転落すると大きな事故につながってしまふことがあります。このブイは、地面に打ち付けたくにロープでつなげてあり、いざというときにすぐ投げられるようにまとめた状態で置いてあります。



川に転落した人が浮き具として使用するブイ

■ブイの点検・修繕

毎年、子どもたちの夏休みが始まる前の7月上旬に、ブイの点検と修繕を行っています。今年も青少年育成協議会や地域の小・中学校PTA、こども育成会、小学校の先生などにもご協力いただき、総勢45人で作業を行いました。↗



作業に参加した人からは、「過去に事故があったことを知らなかった」という声や、「身近な水難事故の危険性を再認識できた」という声が上がっていました。

また、小学校PTAの人たちが通学路に危険な箇所がないかを、実際に通学路を歩いて確認しています。地域の中でこういった活動を行っていることを、多くの人に知ってもらい、地域が一体となって子どもたちを守っていきけるようなまちにしていきたいですね。



ブイの点検・修繕

■水難事故から命を守る

地域子どもたちには、家庭や学校で、川に転落すると危険なので近づかないようにと教えていますが、それでも事故が起きてしまうことがあります。

ブイの点検・修繕作業は夏場に行うため大変ですが、この活動は事故が起きたときに命を救うことにつながっていくので、今後も地域の取り組みとして続けていきたいと思ひます。



有料広告掲載欄

建設職人なら誰でも入れる組合です



建労 四日市支部
随時加入者募集中

三建国保

組合独自の建設労働者の健康保険

出産育児一時金（42万円）
葬祭費（本人10万円・家族7万円）
高額療養費、無料健康診断の開催
人間ドックに対する補助（3万3千円）
脳ドックに対する補助（2万円）など

三重県建設労働組合四日市支部 四日市市ときわ5丁目1-8 ☎(059)354-1531(代)

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。